

ワークライフバランスへの取組及び女性の登用に関するアンケート調査票

■ 貴事業所について

Q 1 業種区分について、該当するものに○をしてください。(1つだけ) ※複数ある場合は最も主要な業種を選択してください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	
農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	業 飲食店・宿泊	業 医療・福祉	業 援業 教育・学習支	業 複合サービス	(他に分類されないもの)	(他に分類されないもの)	公務

Q 2 貴事業所の所在地について、該当するものに○をつけてください。(1つだけ)

1 庄原地域 2 西城地域 3 東城地域 4 口和地域 5 高野地域 6 比和地域 7 総領地域

Q 3 貴事業所の区分について、該当するものに○をつけてください。(1つだけ)

1 単独事業所 2 本社・本店 3 支社・支店・営業所等 4 個人経営(法人でない)

Q 4 貴事業所の職員数について、区分ごとに、男女別の人数を □に記入してください。(H25年10月1日現在)

正規従業員		非正規従業員		役員・個人事業主・家族従業員	
女性	男性	女性	男性	女性	男性
人	人	人	人	人	人

Q 5 従業員の休日について該当するものに○をしてください。(すべて)

	完全週休2日	隔週等週休2日	週休1日	変形週休制(4週のうち)		その他 ※()に内容を記入
				4日以上	3日以下	
正規従業員	1	2	3	4	5	6 ()
非正規従業員	1	2	3	4	5	6 ()

Q 6 従業員の特別休暇制度として導入されているものについて、該当するものに○をしてください。(すべて)

	忌引	結婚休暇	出産休暇	生理休暇	配偶者の出産休暇	ボランティア休暇	永年勤続休暇	子の看護休暇	その他 ※()に休暇の名称等を記入
正規従業員	1	2	3	4	5	6	7	8	9 ()
非正規従業員	1	2	3	4	5	6	7	8	9 ()

■ 男女の雇用と女性の登用状況について

Q 7 次の職種における男女配置状況について、該当するものに○をしてください。(職種ごとに1つだけ)

	いずれの部署(職場)も男女とも配置	男性のみの配置の部署(職場)がある	女性のみの配置の部署(職場)がある	該当する部門がない
総合職	1	2 →Q7-1へ	3	4
製造・作業職	1	2 →Q7-1へ	3	4
販売・サービス職	1	2 →Q7-1へ	3	4
営業職	1	2 →Q7-1へ	3	4
技術・専門職	1	2 →Q7-1へ	3	4

Q7-1 上記Q7の設問で、「2」(男性のみの配置の部署(職場)がある)に○をした職種についてお尋ねします。

それはどのような理由からですか？ 男性のみの部署(職場)のある職種について、該当する番号に○をしてください。(すべて)

	技能や資格を持つ女性がない	該当部署が女性を希望しない	配置を希望する女性がない	外部との折衝が多い	深夜業や時間外労働が多い	体力・筋力を必要とする業務がある	その他 ※()に理由を記入
総合職	1	2	3	4	5	6	7 ()
製造・作業職	1	2	3	4	5	6	7 ()
販売・サービス職	1	2	3	4	5	6	7 ()
営業職	1	2	3	4	5	6	7 ()
技術・専門職	1	2	3	4	5	6	7 ()

Q 8 係長級以上の役職の男女別人数と、その役職に占める割合を □に記入してください。(H25年10月1日現在)

事業主・役員		部長級		課長級		係長級	
女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
人	人	人	人	人	人	人	人
(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)

Q8-1 上記Q8の設問で、部長級または課長級の女性の人数を「0人」と回答された事業所にお尋ねします。それはどのような理由からですか？ 貴事業所の状況に該当するものに○をしてください。(すべて)

1 必要な管理能力を有する女性がいない	6 目標となる女性の先輩がいないため、次が育たない
2 在籍年数等を満たす女性がいない	7 顧客が女性の管理職を望まない
3 女性は途中で退職するため、勤続年数が短く、管理職まで育たない	8 上司、同僚、部下となる男性が、女性の管理職を望まない
4 女性は家庭的責任があり、長時間労働を要求できない	9 女性自身が管理職になることを望まない
5 女性に任せられない、又は向いていない業務がある	10 国が言うほど、社会的気運が高くなっているとは思わない
	11 その他()

Q 9 貴事業所では、女性の管理職の登用について、どうお考えですか？ 該当するものに○をしてください。(すべて)

1 意欲と能力のある女性は、どんどん管理職に就かせたい	5 女性は、家事や子育て、介護などの負担が大きいため、管理職に就くのは難しい
2 能力のある女性を管理職に就かせたいが、意欲のある女性がいない	6 どちらかという、管理職は男性がよい
3 女性の多い職場であれば、女性を管理職に就かせたい	7 その他()
4 現状では、管理職に就くことのできる経験や能力を備えた女性は少ない	

Q10 貴事業所では、女性を積極的に活用するためつぎのような取組を行っていますか？ 該当するものに○をしてください。(すべて)

1 性別により評価されることがないよう、人事考課基準を明確に定めている	4 女性の採用及び登用を積極的に行っている
2 女性を活用するための推進体制の整備または活用計画の策定を行っている	5 女性従業員を対象とした教育訓練や研修を行っている
3 女性活用の重要性について、全従業員を対象とした啓発や研修を行っている	6 男女の固定的な役割分担の見直しなど職場環境の整備を行っている
	7 仕事と家庭との両立支援制度を整備している
	8 その他()
	9 特に取組は行っていない

Q11 貴事業所では、正規従業員の働き方(退職時期)はどのパターンが多いですか？ 多いと思われるもの上位3つを選び、番号を記入してください。

1 結婚を機に退職	4 子どもが小学校入学頃までに退職	7 概ね定年まで勤務
2 妊娠・出産を機に退職	5 子または子の配偶者の出産を機に退職	8 その他
3 子どもが3～4歳頃までに退職	6 家族(配偶者父母等)の介護を機に退職	

	1位	2位	3位	8その他 を選んだ場合理由を記入
女性				
男性				

Q12 貴事業所では、職場でのセクシュアルハラスメントを防止するため、つぎのような取組を行っていますか？ 該当するものに○をしてください。(すべて)

1 パンフレット配布などの啓発活動	5 就業規則へのセクシュアルハラスメントに関する事項の記載
2 防止のための研修	6 その他()
3 相談や苦情のための窓口の設置	7 特に取組は行っていない
4 相談・苦情に対する対応マニュアルの作成	

■ 育児・介護と仕事の両立支援のための制度等について

Q13 ワークライフバランス(仕事と生活の調和)という言葉を知っていますか？ 該当するものに○をしてください。(1つだけ)

1 知っている	2 詳しくは知らないが、聞いたことはある	3 知らない
---------	----------------------	--------

Q14 仕事と家庭を両立するためには、何が重要であると考えますか？ 主なものを3つ選び○をしてください。

1 年次有給休暇を取得しやすくすること	6 育児・介護休業制度を利用しやすくすること
2 時間外勤務を少なくすること	7 子どもの看護休暇を取得しやすくすること
3 育児・介護、家事等を家族が分担すること	8 職場の管理・監督者や同僚が配慮、協力すること
4 短時間勤務制度を取得しやすくすること	9 保育施設や介護施設の整備、サービスの充実
5 出勤時間・退社時間が柔軟に変更できる制度(フレックスタ イム制度)を導入すること	10 その他()

Q15 貴事業所が、仕事と家庭を両立するための取り組みを実施するにあたって、問題点・課題としてどのようなものがありますか？ 主なものを3つ選び○をしてください。

1 具体的は取り組み方法がわからない	5 人事考課が難しい
2 管理職や従業員の意識改革をすることが難しい	6 問題点や課題はない
3 人員管理が難しい	7 その他()
4 コストが増加する	

Q16 貴事業所の両立支援制度の対象となった従業員が制度を利用しようとするとき、従業員自身のどのような思いや意識が支障になるとお考えですか？ 該当するものに○をしてください。(すべて)

1 上司や職場の理解が得られない	4 育児または介護休業期間が終わったとき、今の職場に戻れないかもしれない
2 賃金の保障がない	5 昇進に影響する
3 仕事を任せられる人がいない	6 その他()

Q17 貴事業所では、つぎの各制度の規定がありますか？ある場合は、期間についてお答えください。

1 ある	2 制度として明文化されてないが、慣行としてある	3 検討中	4 ない
------	--------------------------	-------	------

	制度の規定	「1」「2」を選んだ場合は期間を教えてください			
育児休業制度	1 2 3 4	子どもが	歳	ヶ月になるまで	
介護休業制度	1 2 3 4	1 93日	2 94日～6ヶ月未満	3 6ヶ月～1年未満	4 1年以上

Q18 貴事業所では、つぎの各制度が利用しやすい職場環境にあるとお考えですか？

制度ごとに、該当する番号を選んで○をしてください。(従業員の属性別に、それぞれ1つだけ)

1 取得しやすい	2 どちらかといえば取得しやすい	3 取得しにくい	4 導入されていない
----------	------------------	----------	------------

	年次有給休暇	育児休業	介護休業	育児・介護のための短時間勤務制度
正規従業員(男性)	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
正規従業員(女性)	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
非正規従業員	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

Q19 貴事業所では、つぎの各制度の内容や利用中の労働条件(賃金、昇給、勤続年数への算入等)について、従業員の認知状況はどの程度だと思われるか？制度ごとに該当する番号に○をしてください。(従業員の属性別に、それぞれ1つだけ)

1 よく知っている	2 ある程度知っている	3 よく知らない	4 把握していない
-----------	-------------	----------	-----------

	年次有給休暇	育児休業	介護休業	育児・介護のための短時間勤務制度
課長以上の管理職	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
管理職以外の従業員	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

Q20 貴企業のトップ(社長や会長等決定権を有する方)は、従業員の育児休業取得や介護休業取得についてどのようにお考えですか？ 制度ごとに、該当する番号に○をしてください。(それぞれ1つだけ)

1 賛成	2 どちらかといえば賛成	3 どちらとも言えない	4 どちらかといえば反対	5 反対
------	--------------	-------------	--------------	------

	育児休業					介護休業				
男性従業員の取得	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
女性従業員の取得	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
期間雇用者の取得	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

■ 育児休業制度の運用状況について

Q21 貴事業所では、育児休業中の正規従業員に対して、**金銭的支給**がありますか？
該当するものに○をしてください。(すべて)

- 1 支給制度あり(会社から給与や手当として) 2 支給制度あり(共済や互助会等から手当金として) 3 支給制度はない

Q22 貴事業所では、育児休業を取得した場合に、取得しなかった場合に比べ、正規従業員の**昇格・昇給**にどのような影響がありますか？ 該当するものに○をしてください。(休業取得期間別に、それぞれ**1つ**だけ)

	昇進・昇格・昇給には影響がない	復帰直後は遅れるが、いずれ同水準になる	休業期間分の差は将来的に残る
休業取得期間 6か月以下 の場合	1	2	3
休業取得期間 6か月超 の場合	1	2	3

Q23 貴事業所では、**期間雇用者**への育児休業制度の適用はありますか？ 該当するものに○をしてください。(1つだけ)

- 1 すべての期間雇用者に適用あり 2 法律上の要件を満たす場合は適用あり 3 適用なし

Q24 貴事業所において、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの期間で、**出産**(女性)または**配偶者が出産**(男性)した従業員と**育児休業の取得を開始した従業員は何人**ですか？また、育児休業者が実際に取得した期間(予定を含みます。)はどのくらいですか？

	出産者数 (配偶者含む)	育児休業 取得者数	取得期間					
			3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年以上
正規従業員(男性)	人	人	人	人		人	人	人
正規従業員(女性)	人	人	人	人		人	人	人

Q25 貴事業所では、つぎのような育児のための**柔軟な働き方ができる制度等**が導入されていますか？
運用としての実施を含め、該当するものに○をしてください。(すべて)

- | | | |
|-------------------|---------------|------------------------|
| 1 深夜業の免除 | 6 フレックスタイム制 | 11 育児休業者への職場復帰プログラム |
| 2 時間外労働の制限 | 7 事業所内託児施設の設置 | 12 再雇用制度 |
| 3 所定外労働をさせない制度 | 8 育児期の転勤への配慮 | 13 育児サービス利用料の金銭的支援 |
| 4 短時間勤務制度 | 9 在宅勤務制度 | 14 配偶者出産休暇制度(男性従業員を対象) |
| 5 始業・就業時刻の繰上げ・繰下げ | 10 子の看護休暇制度 | 15 その他() |
| | | 16 導入していない |

Q26 貴事業所では、市や県などの両立支援に対する**助成金の支給や融資**を受けたことがありますか？
該当するものに○をしてください。(1つだけ)

- 1 助成金の支給や融資を受けたことがある → Q26-1へ 3 制度は知っているが、利用するつもりはない
2 助成金の支給や融資を検討している 4 助成金や融資があることを知らない

Q26-1 前頁の設問(Q26)で1に○をしていた事業所(助成金や融資を受けたことのある事業所)にお尋ねします。どの制度を利用されましたか。該当するものに○をしてください。(すべて)

- 1 庄原市事業所内託児所運営補助金 3 広島県事業所内保育施設整備促進補助金 5 その他()
2 広島県いきいきパパの育児奨励金 4 広島県仕事と家庭の両立支援資金

■ 次世代育成支援対策推進法に基づく事業主行動計画の策定について

Q27 「**一般事業主行動計画**」という言葉を知っていますか？該当するものに○をしてください。(1つだけ)

- 1 知っている 2 詳しくは知らないが、聞いたことはある 3 知らない

Q28 貴事業所では、「**一般事業主行動計画**」を策定されていますか？該当するものに○をしてください。(1つだけ)

- 1 策定・届出済 2 策定・届出予定 3 検討中 4 策定することは困難
5 策定する必要性を感じていない 6 検討していない

■ 仕事と家庭の両立や女性の登用などについて、ご意見をお聞かせください